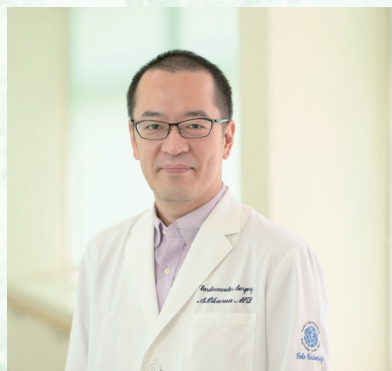


心臓血管系の疾患を 低侵襲の手術で治療 急を要する大動脈瘤や 大動脈解離に対応

医学博士の知見を動員
チームによる医療牽引

『池上総合病院』の心臓血管外科を率いる大熊新之介科長は、抗菌薬浸漬人工血管の効果に関する研究で医学博士の学位を取得した三



大熊新之介 科長
新潟大学医学部卒。医学博士。東邦大学医学部外科
学講座心臓血管外科学分野講師。日本外科学会外
科専門医、三学会構成心臓血管外科専門医。

学会構成心臓血管外科
専門医。患部の血管に
ステントグラフトという
金属製の骨組みに支え
られた人工血管を挿入
して治療する手術法の
スペシャリストでもあり、
チーム医療で大動脈瘤
や大動脈解離などの疾
患に対して身体への負担
が小さい低侵襲の治療
で実績を重ねている。
「大動脈瘤は、心臓か

ら全身に血液を送る大
動脈にコブができ、破裂
すると生命の危機につな
がる疾患、大動脈解離
は大動脈に亀裂が入り、
血管が裂ける突然発症
性の疾患です。治療法
には人工血管置換術と
カテーテルによるステン
トグラフト治療があり
ますが、年齢や動脈の
状態を見極めて上で最
適な治療方法を提案し

ます。また、当病院では、
ドクターカーを配備して
おり、24時間対応で緊
急手術も行います」
大熊科長の専門領域
は心臓血管外科全般に
及び、動脈外科手術、
冠動脈バイパス術、血管
内治療、末梢血管手術
でもチームを牽引する。

(ライター/斎藤 紘)



☎ 9:00~12:00 14:00~17:00

☎ 日曜日・祝日・土曜日午後

医療法人社団 松和会 池上総合病院

いけがみそうごうびょういん

☎ 03-3752-3151

📍 東京都大田区池上6-1-19

<https://ikegamihos.jp/>